

令和4年度 奈良県立畝傍高等学校
第2回学校運営協議会 議事録

令和4年11月10日(火)

13:30~15:30

1 学校長挨拶

前回の学校運営協議会では中期計画や教科書の採択について協議を行った。現在、それに沿った形で進んでいる。

コロナ禍の影響が残っているが、全日制では文化祭や球技大会を実施、定時制では初めて体育大会をグラウンドで実施した。また、現在は文化祭を企画している。部活動では、全日制では音楽部が全国合唱コンクールで全国2位を受賞した(近畿で初)。陸上部は男女とも駅伝で近畿大会出場を決めている。ソフトテニス部、サッカー部も結果を残している。定時制では生活体験発表で奈良新聞社から特別賞を受賞した。

11月1日から4日間、全日制で保護者を対象とした授業公開を実施し、4日間で113名の保護者の方が来校され、アンケートにもご回答いただいた。現在集計中だが、「高校生活を体験することが出来て嬉しかった、先生が生き生きと授業をしていた、知識だけではなく知性を広げようと工夫されていた」など、概ね良い評価、感想をいただいた。本日は委員の皆様にご覧いただくこととなっているが、お気づきの点等があれば後ほどご指導いただきたい。

2 授業参観

6時間目(13:50~14:35)の授業参観(全学年公開)

※ 配布資料

教室案内図・授業一覧、全日制1学期授業アンケート結果

3 協議

各課程の第1学期授業アンケート、全日制授業参観をもとに、協議を行う。

<全日制>

校長より

- ・全日制の授業に関するアンケート項目を「分かりやすい」「おもしろいか」の2点で見えるように変更した。「分かりやすい」よりも「おもしろい(興味を引かれる、もっと知りたくなる)」に重点を置いた授業を目指してほしいと教員には話している。

各委員より

- ・静かで落ち着いていて素晴らしいと思うが、静かで落ち着きすぎている。
- ・子どもたちが「わくわく」を表現できたらいい。生徒たちからも先生へのアプローチがもう少しあったらよいのと思った。
- ・1年生、2年生、3年生の順番で見た。子どもたちの様子を見たときに、明らかに1年生、2年生、3年生と授業に対する集中度が上がっていった。
- ・生徒それぞれが端末を使っている授業では、机の上に教科書、ノート、端末を広げると、机上がいっぱいになり、落とさないか心配になった。学習環境としてはちょっとしんどいかなと感じた。

- ・3年生、2年生は黒板を使っているが、1年生はノートパソコンを出して、すごく斬新でなかなか見られない光景を見た。変革期を感じた。
- ・生徒に考えさせて答えを導かせる授業で、「こうするにはどうしたら良いかな?」という教え方をされていた。我々が教わっていたのとは違うなと思った。
- ・1つの解き方をした生徒に対して「こういう解き方もある」、「こんな解き方もある」と説明され、これがおもしろい授業なのだなと思って見ていた。
- ・電子黒板が上の方にあるので前の人の頭と被らず、またくっきりと明るく見えて良いなと思った。
- ・コミュニケーションから離れていくのではないかと、少し心配になった。コミュニケーションをとりながら生徒達が主体となる授業をしていく方法が大事なのではと思う。
- ・先生方に熱意があると感じた。生徒も自分自身が積極的に授業に取り組んでいる。先生が「隣の子と話してみよう」と言うと、何も言わなくても、隣どうしや前後でペアを組んで活動していたことが印象的だった。
- ・英語の授業で、最初か最後の10分間のところで、今日の勉強の内容を英語でしゃべらせるような工夫を少しずつ取り入れていかれたらどうか。
- ・電子黒板とかプロジェクターを使って、もっとフラットな形で意見を出し合っていくと、もっと盛り上がって授業がおもしろくなっていくのではないかな。
- ・上手に説明出来ない人も引っ込み思案な人もいると思う。壁を打ち破ってあげるようなツールとして、誰もが使っているラインのアプリのようなものを有効に活用するなど、SNSを上手に使うともっと生き生きとしたものになるのではないかなと思う。
- ・1人1台端末や電子黒板はすごく便利だが、活字離れにならないかということ懸念する。
- ・生徒に先生役をさせるのはどうか。前もって、明日の授業でこれをみんなに説明しなさい、分からない生徒に教えなさいというもの、すごく有効的な手段ではないか。

<定時制>

定時制教頭より

- ・生徒が1クラス最大10名という少人数での授業の中で、生徒は先生と対話的な学習が出来ていることから、授業アンケートの満足度が高いのではないかと感じている。
- ・生徒が1人1台端末を持っているので、先生方は生徒に端末を活用させる授業を展開している。先生方もどうすればより活用できるか、研修を進めているところ。研修でお互いに考えていることや困っていることを出し合いながら、実際に授業で活用して授業改善を図っている。
- ・始業前に生徒の指導や遅刻した生徒の対応があり、授業の開始が少し遅れたりすることはあるが、教員は、生徒の顔を一人一人見て声かけをしている。
- ・今年度は行事の見直しを行った。体育大会では、最終学年の4年生が中心になって企画運営をやり、準備や開閉会式の司会進行など、生徒が主体的に行った。

委員より

- ・何より毎日頑張って学校に来て卒業していただきたいと心から思っている。予習復習に頑張っているという数字が増やしていけたら良いなと、頑張りたいなと思っている。
- ・少人数だからこそ対話を重視されているのだと思う。そのもとで生徒も満足感を持っており、色んな課題を抱えている中であって、数値的には良い結果だと思う。

- ・登校拒否していたけれどもう一回学校行ってみようとか、あるいは家庭環境の問題もあって仕事をしながら勉強を続けたいと思っている方もいる。なんとか卒業証書をもってほしいと強く思う。
- ・先生方の取り組みに対して生徒達が高い評価をしている。逆に自分自身が「予習復習をしている」「しっかりと勉強している」という項目では、自分に厳しく辛口にみていることも印象的だった。

4 報告事項

(1) 修学旅行(全日制)について(第2学年主任)

- ・10月18日から3泊4日でコロナウイルス感染症拡大によって、台湾から九州に変更した。3コースに分かれ、各クラスの研修旅行委員を中心に、旅行会社の方や担任の先生と相談しながら、生徒達自身で行程を考えて決めた。
- ・本校では修学旅行ではなく研修旅行としている。学びのテーマを各クラスで設定し、事前学習や事後学習の機会を設けながら、現地の学びやこれからの活動に生かすことが、旅行の目的の一つになっている。
- ・相手を思いやることや、旅行が出来る様に力を貸してくださった多くの方々に感謝をする言葉を発したりする姿を見る機会やアンケートの記述が多くあった。

(2) 「3年生にエールを送る会」について(特別活動指導部)

- ・今の3年生は、新型コロナによりあらゆる行事が中止、変更、縮小を余儀なくされ、3年間黙食が続いた学年だったが、明るく楽しく過ごそうとしている3年生をさらに元気づけ、卒業に向けて良い形で送り出そうと生徒会が企画している。
- ・スライドショーで3年間の振り返り、先生方からの激励や各クラブの後輩達のボイスメッセージを教室で3年生に見てもらい、その後グラウンドで花火を上げて盛大にエールを送る予定。
- ・生徒達の募金や、多方面から助けていただきこの行事が実施できることになった。

(3) 次回の運営協議会について

- ・次回は2月下旬から3月上旬に行う予定。次回は今年度の学校目標の評価についての協議をお願いする。
- ・課題研究について、2月11日(土)に2年生の課題研究発表会を開催するので、是非参観していただきたい。

5 校長挨拶

見ていただいた通り、本当に生徒達は良い子どもたちで、上手に育てていただいた、そういうお子さんに来ていただいている。研修旅行の先々でも「礼儀正しい」「こんな風にしてもらった」などのありがたいお言葉をちょうだい出来る、そういう風な子どもたちである。ただ良い子すぎて物足りない子どもたちがいるのも事実であり、色んな刺激を与えながら育てていきたいと思っている。例えば今回の花火大会に関しても、実施に向けて色んな苦労があったが、生徒会が全部自分たちで考え、校長室にも何度も話し合いに来た。近隣の方のご協力も得て、物事を決めていく中で、子どもたちの強さを感じることができた。機会さえ与えればできるのではないかと思う。2月11日の課題研究もひとつの機会として捉え、子どもたちにしっかりと色んな発信をし、さらに参加者と色々対話していく機会としていきたい。今後もご指導いただければと思う。

